

東日本大震災・信越地震 支援ニュース③

長野医療生活協同組合 企画・教育部ニュースNo.32

発行：2011年3月17日 新津みさ子

災害医療支援、第1陣-中村さん・笠原さん 無事、長野に帰ってきました!!

◎3月17日(木)19:33 第1陣の2人が、無事病院に到着。

お帰りなさい。本当にお疲れ様でした。中村さんと笠原さんが、無事、帰還しあいさつをしてくれました。元気にそして、さわやかにっ!!

事務長をはじめ師長・管理部・職責者・職員、暖かいコーヒーをつくって待っていた薬局長たちから、お帰りの歓声がわきました。新津部長と事務長がお帰りインタビュー、「現場は悲惨のひと言ですが、被災者のみなさん明るく被害状況を話してくれました。自分たちは帰ってきましたが、坂病院のスタッフの中には家をなくしたりして、被災されています。しかし、今はみな病院に泊り込んで頑張っていた。これからあの場所で復興していくには何年もかかり大変なことだと思います。

全国から多くの支援が来ていて、一緒に働けた。長野からの第2陣も元気に頑張っている」とのことでした。しかし、現場は寒かった!!情報はラジオのみ、携帯はつながらない等、、詳細は、次号にて紹介していきます。

2人は、5日間お風呂に入ることができませんでした。しかし、爽やか!上司は、今か今かと、到着を待っていました。



病院に津波の被害はなく、地震の揺れで、壁にヒビが入っていました。中村さんは2交代の夜勤の看護業務に入り、笠原さんは医師と共に、トリアージを担当し奮闘しました。